

平成 28 年(2016 年) 8 月 29 日
政策調整部危機管理局 危機管理・防災課

平成 28 年度 湖南省総合防災訓練を実施します —地震による被害の減少をめざして—

■趣旨・目的

地域防災計画の実行性を高めるため地震想定による訓練を実施し、市、各防災関係機関、地域が連携して、市と各地区連絡所や地域との情報伝達訓練、避難訓練、避難所開設・運営訓練及び市災害対策本部設置・運営訓練、各部局対応訓練により、それぞれの災害対応力の充実及び防災意識の高揚を目的として実施する。

この際、4月に発生した熊本地震に鑑み、大地震発生後、湖南省役所庁舎が使用できない場合の実態を認識するとともに、問題点及び対策について検証する。

また、各地区における避難所開設・運営訓練においては、地域住民（被災者と想定）の協力のもと、実人員をもってリアルHUG（実際の学校の図面を活用した避難所運営ゲーム）の成果について検証し、今後の充実、修正等に反映させる。

■日 時

平成 28 年 10 月 2 日（日） 午前 8 時 00 分から 11 時 30 分まで

■場 所

市役所東・西庁舎、共同福祉施設（サンライフ甲西）、各まちづくりセンター、石部防災センター、市民学習交流センター（サンヒルズ甲西）、各出先機関、市内各地域、市内小・中学校等

■内 容

別紙実施概要のとおり

■問い合わせ

担当課名：危機管理・防災課

担当者名：係 長 米津 知揮

（直通） 0748 - 71 - 2311

（FAX） 0748 - 72 - 2000

平成 28 年度湖南省総合防災訓練実施概要

1 目的

平成28年度湖南省総合防災訓練は、地域防災計画の実行性を高めるため地震想定による訓練を実施し、市、各防災関係機関、地域が連携して、市と各地区連絡所や地域との情報伝達訓練、避難訓練、避難所開設・運営訓練及び市災害対策本部設置・運営訓練、各部局対応訓練により、それぞれの災害対応力の充実及び防災意識の高揚を目的として実施する。

この際、4月に発生した熊本地震に鑑み、大地震発生後、湖南省役所庁舎が使用できない場合の実態を認識するとともに、問題点及び対策について検証する。

また、各地区における避難所開設・運営訓練においては、地域住民（被災者と想定）の協力のもと、実人員をもってリアルHUGの成果について検証し、今後の充実、修正等に反映させる。

2 実施日時

平成28年10月2日（日）午前8時から午前11時30分まで

3 実施場所

市役所東・西庁舎、共同福祉施設（サンライフ甲西）、各まちづくりセンター、石部防災センター、市民学習交流センター（サンヒルズ甲西）、各出先機関、市内各地域、市内小・中学校等

4 主催

湖南省

5 訓練参加機関、団体等、参加者

- ・地域：各区（ふるさと防災チーム【防災士】、各まちづくり協議会等）
- ・団体等：社会福祉協議会、災害応援協定団体（自治体含む）
- ・防災関係機関：消防団、湖南中央消防署
- ・市職員：全正規職員（出先機関職員含む）

6 訓練想定（地震を想定）

10月2日（日）午前8時、南海トラフを震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、湖南省では震度6強を観測した。

湖南省は、地域防災計画に基づき、自動的に災害対策本部を立ち上げるとともに、職員も自主参集して、参集途上での被災状況等の情報を収集し、又、各職場に到着後は、施設の安全点検を実施した。

施設点検の結果、東・西庁舎においては、1階部分の損傷が激しく倒壊の恐れもあり、庁舎内での業務遂行は困難と判断されたが、サンライフ甲西には特に損傷は見られなかった。

市内の被害状況については、発災直後の混乱もあり十分な情報がなく、全体の被害状況は、現時点では掌握できていないが、大きな被害が発生していると判断される。

このため、市は速やかに、各まちづくりセンター、石部防災センター及び市民学習交流センターに地区連絡所を開設するとともに、サンライフ甲西に災害対策本部を設置して、情報の収集・伝達、避難所設置や住民避難支援等の初動体制に移行した。

湖南中央消防署、消防団各分団は、各地区連絡所及び各消防車庫（詰所）へ集結して、消火活動や住民の救助にあたった。また、甲賀土木事務所、甲賀警察署は、市と連携し被害情報の収集にあたった。

※参考【被害想定によると、この地震による最大被害状況は、家屋の全壊が184棟、半壊が1,421棟、死者数が10名、負傷者数が219名、停電が24,878件、上水道の断水人口が19,962人、火災や土砂崩れ、道路、橋梁の破損等の甚大な被害が発生している】

7 住民避難訓練（避難行動要支援者対応含む）

（1）関係各機関等

各区、ふるさと防災チーム（防災士）、消防団等

（2）訓練内容

ア 地震発生後、各区は、区の計画に基づき一時避難場所に集合して、避難状況を掌握するとともに、安否確認を実施する。この際、努めて避難行動要支援者対応について考慮する。

イ 区の一時的避難場所から市の指定避難所に住民を避難させる行動を計画する区については、関係機関等と調整して検証する。

ウ 細部については、各区の計画による。

8 避難所開設・運営訓練

（1）関係各機関等

各まちづくり協議会、各学校、市職員（健康福祉部、教育部等）

（2）訓練内容

ア 災害対策本部の決定に基づき、関係機関は相互に連携して指定避難所を開設する。

イ 指定避難所開設後、実際に住民を受け入れる場合は、各関係機関と連携してリアル HUG 成果の検証を実施する。

ウ 細部については、各まちづくり協議会の計画に基づき、各関係機関との調整による。

9 その他の訓練等

（1）職員参集訓練

（2）災害対策本部開設・運営訓練

（3）地区連絡所設置訓練

（4）各部局対応訓練

（5）起震車体験

10 訓練中止等の決定

当日、湖南省市に大雨洪水警報等発表され、警戒体制が継続している状況において、訓練実施に支障があると判断した場合は、訓練内容の一部修正、又は、中止を決定する。